

現場もぶらり巡 世の中の消費を牽引する女性の視点から解読して 日常はコロナの蔓延で一変。急ぎ足でやってきた少し先の未来を つ て、新たな気づ きを発見する新コ ታ いきます 7 Ŧ

見栄えする髪型

ポイント

大きめ

ヒ°アス

おでかけ

眉と目とりップに

"オシャレ欲"の行方は.

欲が高い 粛生活、 気がつい 音を聞いたのは20代~ ことになっているのか。「女 生活者のオシャレ欲はどんな 着の世の中となりました。 人です にもマスク使用率の高い日本 ツ「健康欲」 75・7%(たまに会う48・5% で人に会うという人の割合は 査の結果を片手に読み解いて の欲望ラボ」 ち」に流入。 いこうと思います。 インが主流、 + よく会う27・2%) は、 外出&旅欲と続き 36人。 飲み会や習 もので、 食欲・住欲・人間関係 前提として、 が、 か。 たら仕事 コロナ太りを経て、 外出時はマスク必 でした。 「そと」 1 位 は、 のアンケ もともと世界 オンライ い事もオンラ はテ 今回、 今どんな でした。 秋です。 2 位 以 ダン 70代女 が レ ン 上 本 自 調

> で、優先順位が低くなるのは出時はマスクで顔が隠れるのとも直に会えない。外 頷けます。 ました。 と、いろんなことが見えてきはないでしょう。探っていく クに興味がなくなったわけですもの、ファッションやメイ くなったようです。り欲は減り、人目も レ欲は最後。 とはいえ、 人目も気にし コ ロナ前

> > 下半身は「しめつけなりの

おうちモート

てラクなファッ という姿が多 これまで、 家時間が多くなり、 たようです。 か ス ションへと移 った働く女子 出歩かな ツ&ヒー



女性で 緩く ル を隠す 質な一着を求める」 ていることを象徴するような 家と外の境界線が曖昧になっ 「きっちりと洒落た服より、 やロングスカ きやす アプリで、現た目補正」 ナブルな傾向もみら 「プチプラを何着も」から「上 う意見も。 カジュアル服が売れる」とい になりにくい服が人気です。 なるので、 コロナ太りも ので靴を買う機会も減り、 方、「気分をあげたい」「オ いスニー A ラインのワンピー 照明は命 自宅で洗えてシワ 断捨離は進み、 あってか、 力

菌も気に

0 ブスクで派手なデザインのも 明るい色の服を好んだり、「サ んていう人もいたりします。 をレンタルして楽しむ」な

志向

歩

体型

Ż

部分盛り女子急増 オンラインで、我に愕然。

などで、 ちに美容サロ イ願望沸々。 リフトアップしたい」とキレ えに悲しくなる女子多発。 誰が想像したでしょう。 と対峙することになるなんて 人にひとりは「シミ取りたい 上で同世代と並び、 テ レワ こんなにも自分の顔 クやZoom飲 人に会わないう ンに走る人も多 自分の衰 画面 4 み

サスティ

れます。

なんたって顔半分が隠れ ネイ から。 スや人気のリバティ生地 チョイスさえ間違えな マスクは美人効果を トしたり、 薄化粧になって、 型紙まで出回る都 たという女子が 売り切れ続出。 でも、 女子 美人に見 肌の 出て 0) お金 ア たち る き 顔 調

プリでごまかす人もいますが、 骨だって見せちゃいます。 時のライティングは大事、

それば マイ

かりではあり

ませ、

をつくっ

口角をあげ

たり笑顔

全体的に盛る感じでしょう

か

亜

女子ブラリ

ンで瞳も大きく見せます。 ・

Ħ

コ 5

П

います。だから眉、

ŋ

イスラム女子たちは、

普段

姿で髪と

耳を隠し

ナ禍のマスク事情を聞くと、

ブや服とコ

り

味深い

発見です。

そうそう、

るようになったというのも興

表情を研究す

まるで、

会ったら別人の

プリで変身する亜女子(アジア

のようです。

をはっきり、口紅も濃い目、

トで鼻筋高く。Zoom

鎖

とうしい、

肌が荒れる」

など

ナス意見も多いのです

が

外でマスク必着の今、「う

Ó

ました。「うち」

メイクは、

眉

「そと」メイクは?外出時のマスク事情と、

外出時

コロナ前とはメイクも変わり

二極化、加速、深化。コロナで変わったオシ

ショ に流入、 加えファッション性マスクにおいては、 えファ 機会は、 コ ロナの蔓延で、 Ļ 「そと」が ン性、 ク やファ 防御性に さらに 「うち」 シ ヤ ッ

未来へ向けて

スク装着

も前向きにとらえ、

美に貪欲。

自分基準へ。

シャレ欲を制すると、

オシャ

レ欲は、

市販のマスク使用

デザインより機能

顔が隠れ好都合

手作りマスク使用

シールドは見栄えが悪い 25.7%

ブランドマスクに興味あり 14.7%

シールドを持っている _____12.5%

マスクにこだわりなし 12.5%

マスクを手作りした

服とコーディネイトする

多数います。 ディ をかけるようになり、 を使った自作品で服とコー レー のマスクは、 色の悪さをカバーするピンク 発揮する武器となります。 知事の「百合子マスク」 コロナ禍、 色使いが流行りのようです。 つく見えないようにやさし るのは目元だけなので、 は余念がありません。 えるマスク選びに、 れば、 イクよりスキンケア イクはしっかり。 が良くなっ

ンが

ンの見直しが起きました。

うです。 状況は、 重視、 る人、 シャレ欲から目が離せませ 今後もコロナ禍に 化させたようでもあります。 とあった二極をより加速、 健康かも」と内面磨き、 外見磨きに走る人や オ えるきっかけをもたらしたよ れました。 づくりへ向かう人などに分か はなく自分らしさ」 も自分と向き合うようになり、 は美容効果をも求めるように。 ンライン化の促進で、 派手になる人、 「本当のオシャレとは 機能追求など、 よりシンプルになる オシャレの本質を考 コロナ蔓延という おけるオ デザイン を追求す 「流行で もとも 肉体 嫌で 深

やまもと・たかよ

あったらいいな

見えない

(食べる時などは智行的に開く)

旗全体送的 紫外線加水

食欲みさえる

起音波出て

46.3%

実施

:2020年8月

(20代~70代女性)

調査対象:女の欲望ラボ会員200人中136人が複数回答

調査法 :オンラインアンケート

■コロナ禍における女性のマスク事情についてのアンケート ※小数点第二位は四捨五入

30.8%

13.9%

ほうれい気を

https://www.onnanoyokuboulab.com https://www.onnanoyokuboulab.com https://www.onnanoyokuboulab.com

スキューバ生士也のマスクが流行。フェイスラールドも人気で ンを楽し たいし た。 ドを被る派に分かれるようでジャブの上からフェイスシー 派と、 今後の日本女子の はキレイに被れ という日本女子 髪も乱れることなく ーやスカーフが流行り 口紅をしたいの ト で は、 皆口紅質的続けて むジャ スクファ 「顔を全部隠 カルタ女子 参考になり 12 0) りた アルしル C そっし

